

第1学年1組 生活科指導略案

日 時 令和4年5月20日 2校時

場 所 1年1組教室

指導者 教諭 千葉 織江

1 単元名 「がっこう だいすき」

2 本時の指導（14時間扱い 8/14）

(1) 本時の目標

授業中、教室で地震が起きた際、自分の命を守るためにはどうすればよいか考えることができる。

(2) 準備物

未来へのきずな、「たて小なかよしマップ」、スクリーン、タブレット端末、ワークシート

(3) 研究の視点

低学年部の目指す児童像：友達・家族・地域の人と活動し、命を大切にする児童

【視点1 地域や人とのつながりを意識した学習活動の重視】

手立て① 体験活動を生かした課題設定

・学校探検での先生方や上級生との関わりを記録・蓄積した「たて小なかよしマップ」を活用する。

(4) 本時の流れ

段階	主な学習活動 ○予想される児童の反応	・指導上の留意点 【視点】	5つの 提 言 ()	準備物 ※評価
導 入 5 分	<p>【見通し】</p> <p>1 学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>㊟じしんから いのちをまもろう。</p> </div>	<p>・「たて小なかよしマップ」を提示し、防災に詳しい先生（野田先生）を紹介する。</p> <p>【視点1①】</p>	(3)	「たて小なかよしマップ」
展 開 35 分	<p>【学び合い・伝え合い】</p> <p>2 気付きを生かして自分の考えを持つ。</p> <p>・教室にあるものを確認する。</p> <p>・危険箇所を見つける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>どのような危険があるのでしょうか。探して丸で囲みましょう。</p> </div> <p>3 自分の考えを広め深める。</p> <p>(1) 見つけた危険箇所を発表する。</p> <p>(2) 自分の考えと比べながら、友達の考えを聞く。</p>	<p>・ワークシートの危険箇所（地震前の教室内の絵）を丸で囲み、例を示す。</p> <p>・書けない児童には、「倒れるもの」「落ちるもの」「動くもの」の観点からヒントを与える。</p> <p>・友達の発表を聞いて、自分が気付かなかった危険箇所を青色で囲む。</p>	(2) (4)	ワークシート タブレット端末 スクリーン

	<p>(3) 危険を知る。</p> <p>(4) 野田先生から身の守り方を学ぶ。 ①サル・ダンゴムシのポーズ ②安全な場所の見付け方</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地震後の教室内の絵をスクリーンに映して変容を知ること、身を守ることの大切さに気付かせる。 身の守り方を練習し、教室での身の守り方を理解させる。 安全な場所をどのように見付けるか児童との問答で導く。 	<p>ワークシート タブレット端末 スクリーン</p> <p>※授業中、教室で地震が起きた際、自分の命を守るためにはどうすればよいか考えている。 【知識・技能】</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>【振り返り】</p> <p>4 本時の学習を振り返り、分かったこと、できるようになったことを発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 分かったこと、できるようになったことを自己評価させる。 次時は、学校探検で2年生から学校にある「命を守るもの」を覚えてもらうことを伝える。 	<p>(3)</p> <p>ワークシート</p>

(6) 板書計画

㊦ じしんからいのちをまもろう。

スクリーン